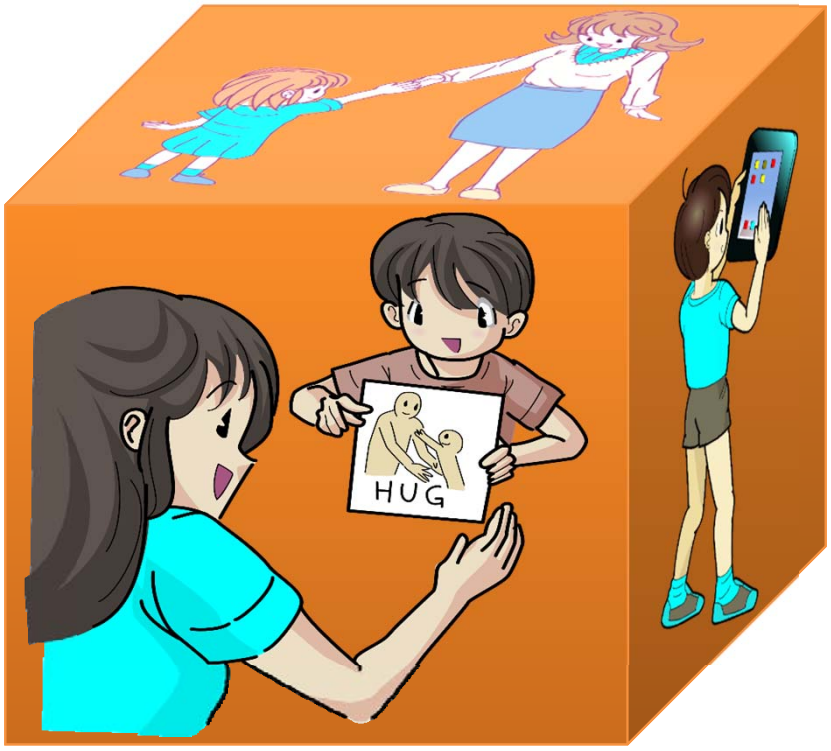
自閉症・情緒障がい特別支援学級における

自閉症の特性に応じた自立活動の指導



自閉症・情緒障がい特別支援学級には、自閉症又はそれに類するものと、選択性かん黙等心理的な要因により、通常の学級における授業では十分に指導の効果を上げることが困難な児童生徒が在籍しています。

道内では、自閉症・情緒障がい特別支援学級が増加の一途をたどっており、意思疎通や対人関係、行動面等に配慮が必要な自閉症のある児童生徒への指導が課題となっています。それに加えて、刺激に対する過敏性や自傷行為、睡眠障がいなど、社会生活への適応が困難な場合がみられることから、学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うための指導である「自立活動の指導」が重要となります。

そこで、このリーフレットでは、「自立活動の指導」に焦点を当て、自閉症の特性に応じた指導・支援について整理しました。

なお、通常の学級に在籍している児童生徒の中には、障がいによる学習上又は生活上の改善・克服を目的とした指導が必要となる児童生徒が在籍していることから、このリーフレットを参考に指導を行うことが望まれます。

北海道立特別支援教育センター

人とのかかわりを円滑にする

言葉の内容を理解するための指導
人とのかかわりを深めるための指導

興味をもって主体的に取り組み、成就感を味わうとともに自己を肯定的に捉えることができるような指導内容を取り上げます。

生活する力を育てる

日常生活の技能を身に付けるための指導
運動機能、感覚機能を高めるための指導

学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲を高めることができるような指導内容を重点的に取り上げます。

コミュニケーション

独自の意思表示や感情表現

指示や説明は短く具体的に伝えましょう
～仕切りや色分けで意味を示す、絵や写真、手順書の提示、実際にやって見せる　など。

人間関係の形成

他者の意図や感情についての独自の類推

具体的な場面を通して、相手の意図や気持ちを伝えましょう
～役割を決めた遊びの中で、気持ちを話したり、考えたりする機会を設定する　など。

「伝わった」という達成感をもたせましょう
～得意なことを発表し、その話題について質問を受けたり話したりする　など。

心理的な安定

活動の見通しや集団、変化に対する不安感

環境の把握

順番や勝敗、特定の物や人に対する強い関心

身体の動き

体の使い方や手指の動きの調整の難しさ

健康の保持

特定の食べ物や衣服など、刺激への過敏性

生活習慣を身に付けるために、家庭と密に連携し、スモールステップで取り組みましょう
～一口だけ皿に盛る、達成できたことは視覚的に評価する　など。

感覚や動作を調整する力を促しましょう
～遊びの中で目と手の協応を促す課題を取り入れる、身体の緊張を和らげる手立てを講じる　など。

状況や年齢に応じた行動へ変換しましょう
～不確定要素を徐々に組み込む、興味関心を広げたり深めたりする活動の設定　など。

活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような指導内容も計画的に取り上げます。

発達の進んでいる側面を伸ばすことによって、遅れている側面を補うことができるような指導内容も取り上げます。

**特別支援学校学習指導要領に示された自立活動の「内容」（6区分26項目）は、
一人一人の障がいの状態や発達の程度等に応じて選定されるもので、具体的な「指導内容」の要素となるものです。
具体的な指導内容を設定する際には、個々の幼児児童生徒の障がいの状態や発達の程度等の的確な把握に基づき、
自立活動の「内容」の中から必要な項目を選定し、相互に関連付けることが必要です。**

北海道教育委員会
北海道立特別支援教育センター　刊行物

※写真をクリックすると、資料を閲覧できます。

PEARLS OF WISDOM
平成１６年３月　北海道立特殊教育センター

特別な教育的支援を必要とする児童生徒への支援を推進するに当たって、手がかりとなる特別支援教育のノウハウを表した「知恵袋＝PEARLS OF WISDOM」です。
通常の学級に在籍するLD、ADHD、高機能自閉症の児童生徒について、「聞くことへの困難さへの支援」、「話すことへの困難さの支援」など、困難さの状態から配慮のポイントや支援の内容・方法を整理しています。

自閉症・情緒障がい特別支援学級における自立活動の指導に関する研究
平成２２年３月　北海道立特別支援教育センター

自閉症の障がいによる学習上又は生活上の困難を「考えられる要因」と「自閉症の特性からの理解」という視点で整理しています。また、自閉症のある児童生徒の自立活動の指導を行う上で必要となる個別の指導計画の作成手順について、具体的な事例をもとに、PDCAサイクルに沿って解説しており、より実践的な内容となっています。

自閉症の特性に応じた教育をめざして
平成２２年３月　北海道教育委員会

道内4つの実践研究校における実践をもとに、特別支援学級と特別支援学校における自閉症の特性に応じた教育課程の編成・実施・評価について整理しています。
自閉症の症状や行動特徴、指導やかかわり方のポイントの他、「日課の工夫」や「教材・教具の工夫」の例を写真付きで紹介するなど、基本的な内容を分かりやすく、コンパクトにまとめたリーフレットです。

特性に配慮した教育課程編成のために
平成２３年３月　北海道教育委員会

自閉症・情緒障がい特別支援学級の担任になった先生や特別支援学校で自閉症のある児童生徒の担任になった先生が、児童生徒の実態把握や教育課程の編成、取組の見直しをする際の資料として作成しました。特に、指導計画の作成手順や指導の形態と指導体制の工夫、自立活動の位置付けについて実際の時間割を例に分かりやすく解説しています。

平成２６年度版特別支援学級を担当する方のための４ステップ（プラス１）ガイドブック
平成２７年３月　北海道教育委員会

特別支援学級の担当経験が少ない方が、戸惑うことなく、指導や支援を始めるために必要となる専門性を「実態把握の実施」、「指導計画の作成」、「教育課程の編成」、「教材・教具の作成」の4つの章（ステップ）に分けて提示しています。また、4ステップに加え、小・中学校での指導の充実のためのプラス1として、「進路指導」について解説しています。

特別支援学級を支えるために～特別支援学級に関するＱ＆Ａ～
平成２７年１２月　北海道教育委員会

特別支援学級に関するよくある質問をＱ＆Ａ形式で整理した指導資料です。Ａ（回答）の根拠となる通知文や学習指導要領の抜粋を掲載するなど、より専門的な内容となっています。
また、具体的な事例が併記されているため、特別支援学級ばかりではなく、学校全体に対する理解啓発のための資料となる一冊です。

※本道では、平成22年4月の「北海道障がい者条例」の施行に伴い「障害」を「障がい」と表記していることから、本リーフレットについても「障がい」と表記します。

発行　北海道立特別支援教育センター
TEL　011-612-6211【代表電話】　E-mail　tokucen@hokkaido-c.ed.jp　URL　http://www.tokucen.hokkaido-c.ed.jp/